

## 令和元年度12月補正予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
鳥取市役所旧本庁舎・第二庁舎解体設計業務費	財産経営課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
12,396	令和2年度			11,100		1,296

<p><b>【事業の目的】</b> 安全面、維持管理面、環境面等から総合的に検討を行い、鳥取市役所旧本庁舎及び第二庁舎の解体を実施する。 解体工事実施にあたり、必要な解体設計業務を行うもの。</p>
<p><b>【事業の内容】</b> 旧本庁舎 RC造6階建6,810㎡、第二庁舎 RC造5階建2,253㎡の解体実施設計を行う。 全体事業費:17,708千円(令和元年度:5,312千円(前払金)、令和2年度:12,396千円)</p>
<p><b>【これまでの関連する取組み】</b> 平成30年9月定例会において、第1次の本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会で「第二庁舎は解体撤去、現本庁舎はさらなる検討が必要」との最終報告がされた。 その後「さらなる検討が必要」とされた現本庁舎の取り扱いの方向性について調査研究が行われ、令和元年6月定例会において、本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会で、委員間討論で論点を明確にしたうえで、現本庁舎の取り扱いについて採決を行った結果、賛成多数で解体撤去を決定する中間報告がなされた。これらの結果等を踏まえて、解体設計を発注できるよう、関係機関と調整を進めてきた。</p>
<p><b>【今後の取組み】</b> 令和2年1月                    業者選定、入札、契約締結 令和2年2月～9月(予定)   設計業務 令和2年11月(予定)        工損調査(事前)開始</p> <p>以降、適切な時期に解体工事費の予算計上を行う。</p>